

講義名称	市民参加論	担当教員名	橋本 将志
科目群	社会科学 (SOC)		
科目区分等	政治 CA7 DI5	単 位	2
対象学年次	1年・秋学期	ナンバリング	SOC116

授業のキーワード	民主主義、地域社会、地域活性化
授業の概要	地方自治体では選挙以外にも市民が政治や行政に参加する方法があります。市民参加は社会福祉や地域活性化などの地域社会の課題解決に用いられています。講義では市民参加について各地の事例に触れながら説明します。
期待される学習成果 (目標)	1. 地方自治体への様々な参加方法について学びます。 2. 地域活性化などの地域社会の課題について理解が深まります。 3. 地域福祉や観光、まちづくりといった地域に関わる政策について学びます。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	市民参加とは何か	講義のオリエンテーションと市民参加の歴史、市民参加が必要な理由を説明します。
2	政策形成への参加①	審議会、公聴会、パブリック・コメントなどの政策形成段階での参加方法を説明します。
3	政策形成への参加②	ワークショップなどの政策形成段階での参加方法を説明します。
4	政策決定への参加	住民投票などの政策決定段階での参加方法を説明します。
5	政策実施、政策評価への参加	市民による地域安全対策、市民満足度調査などの政策実施・評価段階での参加方法を説明します。
6	各政策過程への市民参加のまとめ	政策過程の各段階での市民参加の方法について、まとめを行います。
7	都市計画への市民参加	都市計画やまちづくり、中心市街地活性化などへの参加方法を説明します。
8	環境問題への市民参加	環境パートナーシップ組織などの環境政策における参加方法を説明します。
9	社会福祉への市民参加	地域福祉計画の策定などの社会福祉における参加方法を説明します。
10	地域創生への市民参加①	特区制度、地域再生、地方創生などの地域創生における参加方法を説明します。
11	地域創生への市民参加②	交通まちづくり、コンパクトシティ、観光まちづくりなどを説明します。
12	ICT・AIの活用した市民参加	シビックテックなどの市民参加の方法について説明します。
13	企業による公共的課題への取組	企業の社会的責任 (CSR) や共通価値の創造 (CSV) などを説明します。
14	NPOと社会的企業	NPO、社会的企業などによる地域の課題への取り組みを説明します。
15	各政策分野での市民参加のまとめ	これまでに論じた政策分野別の市民参加について、まとめを行います。

定期試験	学期末レポート (キーワードと市民参加の方法の論述問題) を出題します。
授業時間外学習	各回の内容に沿った教科書等を読み進めること、身近な市民参加の事例を調べることを望みます。
評価方法	学期末レポート (80%) と、講義へのコメント等の授業貢献度 (20%) で評価します。
使用する教科書 (必ず購入してください)	藤井浩司・中村祐司編『地方自治の基礎』一藝社 併せてレジメと資料を作成、配布して進めます。
参考文献	片木淳・藤井浩司編『自治体経営学入門』一藝社 澤村明他著『はじめてのNPO論』有斐閣